

AT8L LAN トナー2送信機

取扱説明書



本探索機をご利用になる前に、取扱説明書をよくお読みになり内容を充分ご理解頂いた上でご使用下さい。

間違ったご理解によるご利用は怪我、もしくは死亡事故につながる恐れがありますので、ご注意ください。

株式会社グッドマン



安全にご使用いただくために

絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

また、警告・注意表示以外でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってご使用下さい。

この警告マークは、作業に従事される方に注意を促します。



危険

この表示を無視して、誤った取扱をすると、死亡または重傷を負う危険が生じます。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定されます。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が損害を負う可能性及び物的損傷の発生が想定されます。



感電注意

活線に触れると死亡又は重傷を負う危険があります。送信機付属のプラグ又はプラグアダプターのみ御使用お願い致します。



注意

本器の修理はおやめください。また、本器を極端な温度条件や高湿度な環境に放置しないでください。温度条件の詳細については仕様を参照してください。

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が損害を負う可能性及び物的損傷の発生が想定されます。

はじめに

本説明書はモデルAT8L LANトナー2を安全にご使用、保守していただくために作成されています。本探索機をご利用になる前に、取扱説明書をよくお読みになり内容を充分ご理解頂いた上でご使用下さい。

安全性

最も重要なことは本器を安全にお取り扱いいただくことです。この取扱説明書及び本体に記された全ての注意事項は、誤った使用法で起こりうる危険な状況をお避け頂くために記述されています。全ての安全情報をよくお読みください。

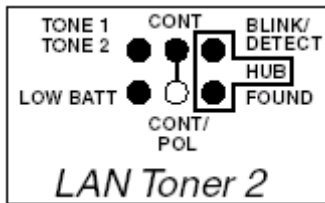
概要

モデルAT8L LANトナー2は、電話及びデータ回線、ケーブルの障害をトーン発信機能で探索できる装置です。極性テスト、回線テスト、ブレスト電源供給など、従来のトーン発信機器の機能と8心モジュラーアダプタを併せ持った多機能の送信機です。本器は更に下記の機能も装備します。

- ケーブルの接続を感知するとLANのハブ、スイッチまたはポートのランプを点滅させます。
- ジャックまたはケーブルに、LANが来ているかどうか識別します。
- トーン発信とハブのランプ点滅を同時に行えます。
- ケーブルのタイプや探索の種類によって探索信号を変えることができます。
- 探索には受信アンプまたはプローブの使用が必要です。弊社の製品では200FP、200EPまたは200GXが適しています。

操作方法

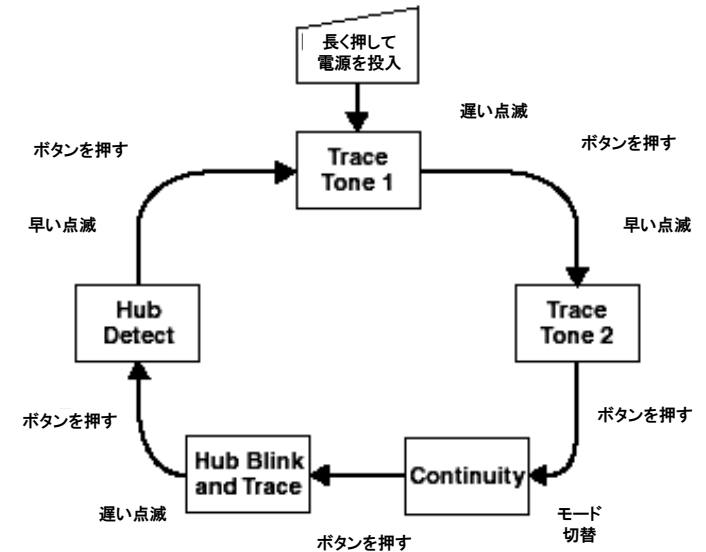
LANトナー本体のLEDは、操作モードと操作結果を表わします。本体上部右のプッシュボタンで、電源の入切とモードの切替を行います。LEDの上段が操作モードを表示し、下段のLEDは状態や結果を表示します。



まず、プッシュボタンを1~2秒押し続け、本体の電源を投入します。TONE1のLEDが点滅します。

※電源投入直後はTONE1モードに自動的に入ります。

更にボタンを押すと他のモード(TONE2→CONT→HUB BLINK→HUB DETECT→TONE1)に順番に切り替わります。電源を切る場合は、同じボタンをLEDが消灯するまで1~2秒押し続けます。



バッテリーテスト

回線に接続する前に、LANトナー2の電池残量を確認してください。

1. 本体の電源を投入し、上段中央のLEDが点灯するまでボタンを押し、CONT(導通)モードを選択してください。赤と黒のワニロクリップをお互いにかませます。
2. 下段左のLOW BATT(電池残量少)のランプが点灯しなければ操作に必要な電池寿命が残っています。

極性テストを用いた電話回線(チップとリングのペア線)の識別

1. LANトナー2をOFFの状態にします。
2. 下記の2つの方法のどちらかでテストする回線に接続します。
 - ペア線の場合: 黒のワニロクリップをテストする線に接続し、赤のワニロを他の線に接続します。
 - MJの場合(6心または8心のもの): 本体上部中央のモジュラープラグをジャックに差し込みます。赤のワニロクリップを本体の4のタブにかませ、黒のワニロを5のタブに接続します。
3. 下段中央のLED(CONT/POL)が緑色に点灯すれば、回線電圧の極性が正極である(赤のワニロがリング側に接続されている)ことを表わし、赤く点灯する場合はリバース極性を表わします。

※LED の光が弱い場合は回線がビジー状態(受話器が上がっている)か、回線に障害がある可能性があります。回線の呼び出し電圧(AC)がある場合はLEDを赤と緑に点滅させるため、黄色く見える場合があります。

下段中央の LED(CONT/POL)が全く点灯しない場合、接続している回線/ケーブルは不活線、未使用線、LAN回線に接続されている可能性があります。

電話回線・ジャックの確認

※このテストを実行するには、ライン電圧供給下であることが前提です。前記を参照してまずそちらの判別をしてください。

1. LANトナー2を OFF の状態にします。
2. テストする回線に LANトナーを下記の方法のいずれかで接続してください。
 - MJ の場合(6心または8心のもの):本体上部中央のモジュラープラグをジャックに差し込みます。赤のワニロクリップを本体の4のタブにかませ、黒のワニロクリップを5のタブに接続します。
 - 被覆をむいたペア線の場合:黒のワニロクリップをテストする心線に接続し、赤のワニロクリップを他の線に接続します。
3. 確認する回線を呼び出します。本体が正しい回線に接続されていれば下段中央の LED (CONT/POL)が緑色に(黄色に見える場合もあります)点滅します。

導通(ショートサーキット)テスト

※このテストを実行する前に、電圧極性テストを行なって回線が無電圧であることを確認してください。前記を参照してまずそちらの判別をしてください。(P.3☎:極性テストを用いた電話回線の識別参照) LED が緑色に点灯すれば電話回線は生きています。

1. LANトナー2を OFF の状態にします。
2. テストする回線の一端に赤のワニロクリップを接続し、他端に黒のワニロクリップを接続します。
3. LANトナー2の電源を投入し、上段中央の LED が点灯するまでボタンを押して CONT(導通)モードを選択します。下段中央の LED(CONT/POL)が緑色に点灯すれば導通またはショートに近いことを示します。回線の抵抗が5kΩを超える場合は、LEDは点灯しません。

トーン発信を用いた探索

※トーン信号を回線に発信する前に、上記を参照してショートテストを行なってください。回線がショートしている場合は信号が減衰し、探索が困難になります。

1. LANトナー2を OFF の状態にします。
2. 探索する回線に LANトナーを下記の方法のいずれかで接続してください。
 - 被覆をむいたケーブル:黒のワニロクリップを探索する心線に接続し、赤のワニロクリップを同じケーブルの他の心線もしくはシールドに接続します。
 - MJ の場合(6心または8心のもの):本体上部中央のモジュラープラグをジャックに差し込みます。赤のワニロクリップを本体の4のタブにかませ、黒のワニロクリップを6のタブに接続します。トーン信号をこの様に2組のペア線に分けて送信できる機能は、カテゴリ5や6の様なよりの強いケーブル探索に有効です。
 - 独立アースのある回線:黒のワニロクリップをアースに接続し、赤のワニロクリップを探索するケーブルの心線に接続します。
 - 同軸ケーブル:赤のワニロクリップをシールドに接続し、黒のワニロクリップをアースに接続します。ケーブルを探索でなく、単に識別だけしたい場合は赤のワニロクリップをシールドに接続し、黒のワニロクリップを心線に接続します。
3. 本体の電源を投入し、TONE1またはTONE2のいずれかのトーン信号に設定します。どちらを使ってもかまいません。
4. 200EP-Gや200XP等の受信機で、トーン音が最も大きく発信する線を選択します。

LAN のハブの探索

1. LANトナー2を OFF の状態にします。
2. 探索するハブに接続された回線に、LANトナーを下記の方法のいずれかで接続してください。
 - ジャックの場合(8心のもの):本体上部中央のモジュラープラグをジャックに差し込みます。
 - 568B か10BaseT の場合は黒のワニロクリップを本体の1のタブにかませ、赤のワニロクリップを2のタブに接続します。
 - トークンリングの場合は黒のワニロクリップを本体の3のタブにかませ、赤のワニロクリップを6のタブに接続します。
 - ペア線の場合:黒のワニロクリップを T+に、赤のワニロクリップを T-に、下記を参照して接続します。
 - 568B か10BaseT の場合は黒のワニロクリップを白/オレンジのペア線にかませ、赤のワニロクリップをオレンジ/白のペア線に接続します。
 - 10BaseT の場合は黒のワニロクリップを白/青のペア線にかませ、赤のワニロクリップを青/白のペア線に接続します。
 - トークンリングの場合は黒のワニロクリップを白/オレンジのペア線にかませ、赤のワニロクリップをオレンジ/白のペア線に接続します。

- LANトナー2の電源を投入し、ボタンを押して BLINK(点滅)モードを選択します。LANトナー2からハブに点滅信号とトーン信号が送信され、ハブの LED ランプが4~5秒周期で点滅します。
- そのハブから LED の点滅が遅いポートを識別します。ジャックをハブから外し、受信機を最短でも5秒あててケーブルを確認します。

LAN 接続されたパソコンの探索

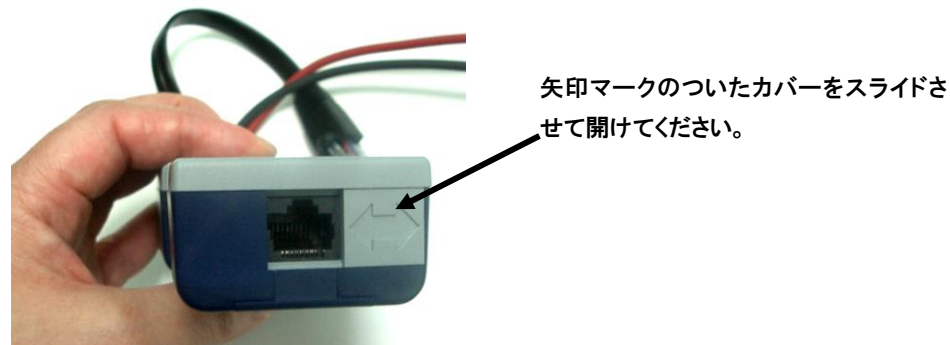
- LANトナー2を OFF の状態にします。
- 探索するパソコンに接続された回線に、LANトナーを下記の方法のいずれかで接続してください。
 - ジャックの場合(8心のもの):本体上部中央のモジュラープラグをジャックに差し込みます。
 - 568B か10BaseT の場合は黒のワニロクリップを本体の3のタブにかませ、赤のワニロを6のタブに接続します。
 - トークンリングの場合は黒のワニロクリップを本体の5のタブにかませ、赤のワニロを4のタブに接続します。
 - ペア線の場合:黒のワニロクリップを R+に、赤のワニロを R-に、下記を参照して接続します。
 - 568B か10BaseT の場合は黒のワニロクリップを白/緑のペア線にかませ、赤のワニロを緑/白のペア線に接続します。
 - 10BaseT の場合は黒のワニロクリップを白/オレンジのペア線にかませ、赤のワニロをオレンジ/白のペア線に接続します。
 - トークンリングの場合は黒のワニロクリップを白/青のペア線にかませ、赤のワニロを青/白のペア線に接続します。
- LANトナー2の電源を投入し、ボタンを押して BLINK(点滅)モードを選択します。LANトナー2からパソコンに点滅信号が送信され、パソコンのリンクランプがゆっくり点滅し、探索用のトーン信号も4~5秒周期で発信されます。
- PCリンクランプが周期的に点滅しているパソコンを探します。ケーブルを確認するため、ジャックをパソコンから外し、受信機を最短でも5秒あてて識別します。

ジャックへの LAN の有無の判別

- LANトナー2を OFF の状態にします。
- 判別するジャックに LANトナーを接続してください。
- 赤のワニロクリップを本体の3のタブにかませ、黒のワニロを6のタブに接続します。
- プッシュボタンを何回か押して、モードを DETECT(検出)に合わせます。このモードの場合は上段右の LED が早く点滅します。
- ジャックに活きた LAN が来ている場合は下段右の FOUND(発見)LED が点灯します。

RJ45・RJ11モジュラージャックの使用

LAN トナー2は底部にRJ45のジャックを装備しています。ここにLANケーブルや電話線を差し込み、ワニロクリップを任意の心線のタブにつけ、送信することができます。



仕様

ブレスト電源供給電圧 (600Ω入力)	4.2VDC
出力(600Ω入力)	8dBm
出力周波数: 探索トーン	
TONE1	820/1110Hz
TONE2	577/820Hz
震音レート	
TONE1	1.9Hz
TONE2	5.5Hz
耐圧	60VDC
電源	9V(006P)×1個
電池寿命	約50時間
オートパワーオフ機能	約5時間
寸法	117.8×52.5×30.5 mm
重量	170g
作動環境温度	0°C~70°C
最大湿度	80%(結露を除く)
保管環境温度	-25°C~85°C(電池は外す)

保守

電池交換



警告

本器のケースを開ける前にリード線を回線から全て外し、本体の電源を切ってください。この表示を無視して、誤った取扱をすると、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定されます。

1. 本体をオフモードにしてください。
2. 回線から本体を外してください。
3. 本体裏側の電池カバーのネジを外し、カバーを開けます。
4. 極性に注意して電池を交換します。
5. カバーを閉め、ネジを元通りに締めます。

クリーニング

定期的に、中性洗剤と固く絞った布などで拭いてください。目の粗いたわしや溶剤は使用しないでください。

保証書

※ 御使用者
住所
氏名

モデル NO. AT8L
LAN トナー 2

品番

保証期間 年 月より 1 ヶ年

お願い 本保証書は、アフターサービスの際必要となります。
お手数でも※印箇所にご記入の上本機の最終御使用者のお手許に保管してください。

保証規定

1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は、保証規定に基づき無償で修理いたします。
2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
3. 保証書の再発行はいたしません。
4. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外致します。
 - a. 不適当な取扱い使用による故障
 - b. 設計仕様条件等を超えた取扱い、使用または保管による故障
 - c. 当社もしくは当社が委託した者以外の改造又は修理に起因する故障
 - d. その他当社の責任とみなされない故障

販売店名

輸入発売元 **株式会社 グッドマン**
236-0024 神奈川県横浜市金沢区乙舩町 9-18
TEL 045-701-5680
FAX 045-701-4302

